

担い手通信

平成30年度第4号

【第4回 地域福祉の担い手育成推進委員会報告】

自分たちの地区を 改めてよく知ろう ～地域を見つめ・活かす視点～



大和市鶴間地区社協の皆さんにお越しいただき、地区アセスメントの実践を教えてくださいました。日ごろ暮らす地区を改めて見つめる価値や、アセスメントの地区活動への活かし方について学びました。最後は、グループワークを通して、振り返りを行いました。



1. 鶴街っくフォーラムとは？

鶴間地区の良さを再発見することを目的とした事業です。課題分析、社会資源分析、フィールドワーク等、4.5通りのアセスメント方法とポイントを教えていただきました。



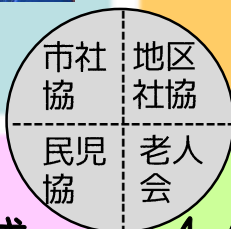
「調査の重要性と分析の仕方がよく理解できた」（受講者感想）

2. 鶴間地区社協の活動

高齢者だけでなく、子育て支援にも取り組んでいます。ふれあいサロンでは、子供と高齢者が交流できる居場所づくりに励んでいます！



「近い場所で集える場所をつくりたい」（受講者感想）



3. 地域マップの作成

地域に住む人に地域を知ってもらうために作成しました。小さく折りたたんで持ち歩くことができ、好評です！



「私たちも地域マップづくりたい」（受講者感想）

4. 生活支援と居場所づくり

お互いを見守ることのできる地域づくりを目指し、「花みずきの会」を設立しました。まずは、できることから始めることが大切。



「高齢者の地域デビュー実現させたい」（受講者感想）

次回第4回の委員会は2月25日（月）10時～12時に農協ビル2階のB会議室で開催します。
これまでの学習を振り返り、これからどう活かしていくか一緒に考えましょう。
また次回、よろしくお願いします！

